

審 議 結 果

次の審議会等を下記のとおり開催した。

審議会等の名称	令和3年度 第1回益田市廃棄物減量等推進審議会
開催日時	令和3年11月29日（月）午前9時30分～10時42分
開催場所	益田市立市民学習センター2階 203 研修室
出席者	審議会委員 出席8名 欠席4名 株式会社東和テクノロジー職員 2名 事務局4名
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	無
次 第	1. あいさつ 2. 議題1 益田市災害廃棄物処理計画（案）について 3. その他
議題1	益田市災害廃棄物処理計画（案）について ○質疑応答
委 員	・ 近隣市町村の災害廃棄物処理計画の策定状況、及び策定された災害処理計画について、益田市が現在、案として持っているものとの整合性はどうか。
市	・ 津和野町、萩市は策定済み、吉賀町、浜田市は策定予定である。また、整合性はあるものとなっている。
委 員	・ 災害発生時に、災害ごみをなるべく早く排出する必要があると思うが、本計画作成後に仮置場の選定をするのか。
市	・ 仮置場の場所については、現段階では決定していないが、昨年度、国のモデル事業を活用し、仮置場の候補地は調査している。
委 員	・ 災害時のごみの排出量は、発生した時点で見込めるものなのか、また誰がそれを見込むのか。
市	・ 排出量は、災害が起きてみないとわからない。また、その量を市の職員で見込むのか、または専門業者等で見込むのかは、今後、検討していく。
委 員	・ ボランティアの役割の決定については、市、益田市社会福祉協議会どちらが行うのか。
市	・ 現時点では、どちらが行うのか決めていない。今後、協議をして決めたい。
委 員	・ ボランティアについては、益田市社会福祉協議会と連携をする等の記述の方が良いのではないか。
市	・ そのようにしたい。
委 員	・ 組織体制と役割分担の中で、自治組織の立ち位置については、どう考えているのか。
市	・ 今回想定する災害は大規模なものになるので、自治組織には、協力をお願いする形になると思われる。市が主体となってやらなければならないと考えている。

委 員	・仮置場で作業に従事している人の健康被害が懸念されるので、研修はしっかり実施できるようにしていただきたい。
市	・しっかり考えたい。
委 員	・仮置場の候補地は、個人所有の土地もあるのか。
市	・個人所有の土地はない。
委 員	・個人所有で管理に困っているような土地をうまく利用してはどうか。
市	・所有者より利用しても良いということになれば、利用させてもらうということとは可能であると思われる。
委 員	・仮置場の予定地に関して、その個所を示す予定があるのか。
市	・事前に住民へ周知することは、検討させていただきたい。
委 員	・災害復旧が大体３年という形となっているが、できるだけ早い復旧をお願いしたい。
市	・１日も早い復旧を目指すよう努める。
委 員	・災害時に、産業廃棄物を出す事業者もいると思うが、その廃棄物はどのように対応するのか。
市	・本計画は、基本的に一般市民向けのものである。産業廃棄物については、事業者が対策を立てなければならないと考える。
委 員	・廃棄物の処理は、基本的に益田市で出たものは益田市で、ということか。
市	・そのとおり。
委 員	・災害廃棄物発生量について掲載されているが、益田市の特性からいくと地震ではなく、水害で想定した方が良いのではないか。
市	・水害は局所的であり、発生量も少ないので、規模も大きく避難所生活も長くなる地震で想定している。
委 員	・対象とする廃棄物の中で、放射性物質及びこれによって汚染された廃棄物は、計画外というのがあるが、市中でどういうことが想定されるのか。
市	・本計画では、放射性物質及びこれによって汚染された廃棄物は含まないと規定している。併せて、事業者から排出する廃棄物も含まないものとなっている。
－議事終了－	